

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	日々の関わりの中で、悩み・願望などの訴えがある利用者にはその都度対応できているが、自ら想いを伝えることが出来ない利用者に対しての関わりは比較的少ない。一人ひとりに寄り添いその人ときちんと向き合い、想いを汲み取りながら話をする機会を増やしたい。	一人ひとりがどんな生活をしてきたいのかを知り、その人の想いを実現できると共に、今直面している想いに対しての精神面・体力面の向上を図ることができる。	その人が得意だったことや自慢できる話を想起できるように対話する。個別に対応する中でやりたいこと、不安となっていることを知る。外出やレクリエーションを通して意欲を引き出せるようにする。	6ヶ月
2	10	関わりの中で得た情報(会話等)をこまめに記録に残せていない為、ケアプランに十分な反映が出来ていない。一人ひとりに寄り添い、小さな気付きをしっかりと記録に残す。そして、心のケアとなるプランに繋げていく。	一人ひとりの想いや意向をケアプランに活かすことができる。	心が和らぐようなコミュニケーションを図り、その状況や言葉を生活記録にきちんと残しケアプランに活かす。また、ホーム内だけでなく家族や知人にも協力をしてもらう。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。